

長崎県公民館連絡協議会顕彰を受けて

長崎市三和公民館
嘱託職員 瀬子 香奈恵

この度、第68回長崎県公民館大会において、永年勤続の表彰をいただき心から感謝申し上げます。

公民館に勤務してあっという間に10年がたちました。初めは不安で何もわからないままのスタートでしたが、たくさんの方々に支えられ、これまで勤めることができました。

公民館では、貸館業務や自主的な学習の場の提供及び講座の開催があり、館内に図書室もあることから、多くの市民の皆様との出会いがある職場です。

また、614名収容できる大ホールもあり、講演会や発表会など年間通して様々な催し物が行われています。さらに、体育館も隣接していることから、多くの方々の受け入れが可能な講座を実施することもでき、地元の方はもとより遠方の方々も参加され、いつしか受講者同士の親睦も深まり笑顔あふれる講座となり、毎回いろんな方との出会いを楽しみにしています。

これからも、学校や地域とも連携を図りながら、幅広い年齢層の人達に親しまれる交流の場として、もっと気軽に公民館を利用して頂けるよう努力して参ります。

長崎県公民館連絡協議会顕彰を受けて

長崎市三和公民館
嘱託職員 加藤 正美

この度は、第68回長崎県公民館大会におきまして永年表彰をいただき心から感謝申し上げます。

私が今勤めております三和公民館図書室には、最初は親子で利用者として通っておりました。職員の方々は皆優しく、明るく声をかけてくださり、多くのすてきな本と出会わせていただきました。他地域から引っ越してまいりました私どもには、心休まる場所でした。

そのような図書室に勤務させていただけるご縁に恵まれ、同僚、利用者の方々に支えられてこの10年でした。

職員となり、今度は私が利用者の方々のお役に立てるよう、利用しやすい環境づくり、本との出会いの援助ができるよう日々努力して参りました。

今回の表彰を心から感謝し、今までの勤務態度を顧み、気持ち新たに次につながる一步を踏み出したいと思えます。大きな図書館ではなく小さな図書室だからこそできるサービスを考えますと共に、微力ではありますが、地域に根ざした社会教育・生涯学習の場としての公民館の役割を担えますよう図書室職員として精進して参ります。

長崎県公民館連絡協議会顕彰を受けて

長崎市為石地区公民館
嘱託職員 大久保 美智

このたび、第68回長崎県公民館大会において、永年勤続の表彰をいただき心から感謝申し上げます。

平成20年に着任した時、この地域は旧三和町から長崎市への合併に伴い業務内容が移行期間ということで不慣れな私にとって大変心細く、緊張した毎日を過ごしたことが思い出されます。地域の皆様に支えられ、自治会や学校関係の方々にご協力いただきながら1日1日を積み重ね、1年10年と続けることができました。

10年前と比較すると自主学习グループにおきましては、高齢化で会員が減少し活動ができなくなったり、子育て支援教室におきましては、少子化の影響で参加人数が減少したりと当時の賑わいは見られなくなりましたが、20年以上続いている自主学习グループもありますし、広い畳の部屋で伸び伸びと子どもを遊ばせることができると子育て支援教室も好評ですので、これからも地域の皆さまを結ぶコミュニティーの場として楽しく遊べる活動を続けていきたいと思っております。

今回の顕彰を受けてさらに身が引き締まる思いです。

長崎県公民館連絡協議会顕彰を受けて

長崎市蚊焼地区公民館
嘱託職員 岳野 みさき

この度、第68回長崎県公民館大会において、永年勤続の表彰をいただき心から感謝申し上げます。平成20年から蚊焼地区公民館に嘱託職員として勤務するなかで、たくさんの方々を支えていただきました。職員の方々や地域住民の方々、公民館を利用される様々な皆様のご指導やご理解、ご協力の中で成り立ち、勤めさせて頂くことができました事に感謝いたしております。今、蚊焼地区公民館ではふれあいセンターへの移行を目指し、蚊焼地区コミュニティ連絡協議会を設立し、地域の皆さんによる話し合いが進められております。先日はまちづくりの先進地として先駆けて取組を行っている地域である福岡県福津市へ視察へ行き、「郷づくり」の推進体制を学ばせて頂きました。～自分たちの地域は自分たちの手で～と、意欲的に取り組んでおられる協議会の皆さんのその姿勢に感心すると共に、改めて公民館がその生涯学習の場として活用されるべきであると実感しました。人と人の繋がりを大切にし、このような仕事に携われることに感謝しながら、これからも地域に根差す公民館づくりを目指していきたいと思っております。

地域の活性化を目指して

壱岐市渡良地区公民館
館長 長岡 信一

今回永年勤続の表彰を受け、県大会の全体会の受賞者代表謝辞でも述べましたが、大変栄誉なことだと思います。

私は、退職と同時に渡良西触公民館(自治公民館)の館長を引き受け11年、次の年から渡良地区館長10年、郷ノ浦町公民館連絡協議会会長10年、壱岐市公民館連絡協議会理事10年(内3年は会長)をさせてもらったこととなります。

渡良地区公民館は、公設公民館ですから、委嘱されていますが、公設公民館に勤めておられる壱岐市の職員の方々とは、少しニュアンスが違っていると感じています。私は、自治公民館の館長を11年続けていたら、結果的に地区館長も町公連会長も市公連も10年勤めたこととなります。

今、公民館の役員のなり手がいないので、1年または2年の任期で交代する公民館が多くなっています。しかし、私は、出来たら何年か続けて引き受けた方がいいと思っています。公設公民館でも自治公民館でも、1年や2年では、活動内容が分かりかけた時には交代するという形になり、その公民館の発展や充実した取組には行き着かないと思います。もちろん後継者を育てることも忘れてはなりません。学校支援会議の会長も10年になりますから、これからも小学校との連携を大事にしながら、公民館の活性化を図っていききたいと思います。

長崎県公民館連絡協議会顕彰を受けて

五島市奈留町公民館
主事 大小田 久光

この度、第68回長崎県公民館大会において、永年勤続の表彰を頂き心から感謝申し上げます。

平成20年より縁が有り、五島市奈留町公民館に公民館主事として勤務することになりました。公民館講座や地域子ども教室、運動会を開催するにあたり多くのボランティアに支えられた10年でした。

奈留島は、五島列島の中央に位置する五島市の二次離島で少子高齢化が著しく進んでいます。公民館事業を推進するにあたり多くのボランティアを必要としますが、島の気質に「人のため」特に「子どもの為なら」があり、昔から子どもに関する事業には協力的で「島の子は島で育てる」という言葉も島にあります。この気質をうまく公民館事業に取り入れられたらという考えから、歴代館長や公民館運営審議会、各関係団体と協力し、地域子ども教室を中心に人脈の構築を進めて行きました。この効果が他の事業にも波及し、ボランティアを中心とした公民館事業を展開することが出来ました。

これからも人と人の繋がりを大切に、「集い・学び・結ぶ」公民館活動を展開していきたいと思っています。

長崎県公民館連絡協議会顕彰を受けて

雲仙市教育委員会
嘱託職員 関 実穂

この度、第68回長崎県公民館大会において永年勤続の表彰を頂き、心から感謝申し上げます。これもひとえに地域の皆様方、諸先輩方の温かいご指導の賜物と思っております。

私はこの10年間、「人と人、人と地域、人と情報を結ぶパイプ役であろう」と心がけ、講座の企画・運営、図書業務、公民館管理業務など様々な業務に携わってまいりました。公民館に来られ、初めて出会った方々が、次の講座では連れ立って参加されたり、講座がサークルになったり、また、そのサークルで創作した作品が、地域の文化祭で展示されるなど、公民館を核に人や地域の絆がどんどん深まっていく様に立会い、それを励みと喜びに感じる、あっという間の10年間でした。

これからも、地域の方々と共に学び、誰もが気軽に集い、人と人がつながる場として、地域課題や時代背景を踏まえた課題目標を掲げ、より地域に根ざした公民館作りに精進してまいりたいと思っております。

長崎県公民館連絡協議会顕彰を受けて

長与町三彩公民館
館長 森田 靖代

この度は第68回長崎県公民館大会において、感謝状を頂き心より感謝申し上げます。

自治会に副会長の役と同時に地域公民館長を引き受けて11年目になります。両役を私に勤まるかと少々不安でしたが、地域の為に何か役に立てればと今日まで続けてきました。この公民館の立地条件が良い事と自治会の活動が活発で何かにつけて公民館に集い活動します。参加した人は、そこにコミュニケーションや、より深い絆が生まれ、また皆に会いたい、会ったら楽しい、こんな良い関係が多くの方々の公民館利用に繋がっているようです。

公民館利用者数は多い方だと自負しています。また利用者は、きれいにして返し、次の方が気持ちよく使えるようにとの気遣いも忘れずに使って頂いています。私が長年館長として勤められたのも、ここに理由があるかと思えます。

我が自治会も高齢化が進み、シルバータウン状態です。だからこそ、子どもたちと高齢者が一堂に会し、お互いに刺激しあう場にしたいと思っております。これからも周囲の方々に支えられながら集いの場、活動の拠点としての公民館の館長として勤めていきたいと思えます。

長崎県公民館連絡協議会顕彰を受けて

長与町長与ニュータウン東区公民館
館長 小西 和成

第68回長崎県公民館大会において「地域猫の取り組み」という活動にて感謝状を頂き、光栄に思っております。

長崎県の犬猫の殺処分は全国でも高いレベルにあります。

私たちの自治会には猫の糞尿や鳴き声の苦情が寄せられ、解決方法を思案していたところ、不妊去勢手術をおこない、一代限りの生を全うする「地域猫」という取り組みが紹介されました。自治会にて会議した結果、「とにかくやってみよう」となりました。

自治会ですと人材は豊富で、小屋を作ってくれる人、猫の世話をしてくれる人達がいいます。餌の費用は自治会活動費と公民館連絡協議会の補助金をいただいで賄っています。公民館を拠点とし、活動状況を回覧で皆さんにお知らせしています。その結果、お世話をしていただいている方たちへの非難もなく「ご苦労様」と声をかけられるようになり、地域と猫の共生が始まりました。

一方、多頭飼いをして放出する人、子猫を捨てる人が後を絶たないのが現実です。この活動を始めて10年になります。他地区との相談もあり、交流も続けています。この活動が安易にペットを飼い、捨てることをなくすメッセージにもなればと願っています。

活動的な公民館作りを目指して

長与町嬉里中央自主防災センター
館長 井上 信博

第68回長崎県公民館大会において、感謝状を頂き、心から感謝申し上げます。私は長崎県警察官を退職後、前自治会長から「今後も地域のために働いてくれないか」とのお誘いを受け、自治会の副会長になったのが地域との関わり合いのはじまりでした。

2年後に前会長が体調を悪くされ、私に引き継ぐように依頼され、現在に至っております。自治会は会員数が540世帯と長与町内で最も大所帯で班長だけでは運営ができないため、9名の地区長と52名の班長で活動しております。

公民館活動としては、役員は自治会と公民館は兼務しており、スムーズな活動が出来ております。「子育て」「学習」「生きがいづくり」「高齢者見守り」を中心に行っており、年間を通じて様々な行事を行い、地区住民の交流を促しております。

地区内の公園は、住民の協力による花植えや清掃により、きれいに保たれており、子ども達の元気な声があふれています。また、見守り活動の成果として会員による孤独死は発生しておりません。

今後の課題は、後継者問題です。役員の中には、15年以上も引き受けていただいている方もおられます。これからは女性の力が必要だと思います。これからも自治会全体で一丸になって住みよい町や活動的な公民館作りを進めていきたいと思っています。

長崎県公民館連絡協議会顕彰を受けて

長与町辻後自主防災センター
館長 中村 美穂

この度は、第68回長崎県公民館大会において、公民館長として感謝状をいただき心から感謝申し上げます。

公民館長として11年目、自治会長として8年目になり、地域の方々が自主防災センターを利用しやすく、また赤ちゃんから高齢者の方が集まる拠点づくりとしての役割が少しでも出来ているのではないかと考えています。自治会と公民館は区別できない活動が多いものですが、敬老会を毎年開催するときには、子ども会の合唱や肩たたき、メッセージカードのプレゼントやコーラスグループ、民踊などを披露してもらい、地域住民が世代間交流できる良い機会だと感じております。

いろいろな行事を通して、何かのきっかけでお互いが知り合いになり言葉を交わすようになれば、充実した毎日が送れるものだと思います。子育て世代も地域の方々の見守りで子ども達が成長していく事、高齢者の方々も子ども達から元気をもらい顔の見える関係づくりがこれからの社会では重要ではないでしょうか。

これからも地域に開かれた場所づくりを目指していきたいと思います。

長崎県公民館連絡協議会より感謝状を受けて

長与町堂崎公民館
館長 岩永 正富

この度長崎県公民館大会において、感謝状を頂き、身の引き締まる思いであります。

我々は、小さな公民館ではありますが、一昨年はNPO法人の設立も実現し、地域の環境整備を柱に活動しております。地域内七か所の花壇の造成から、花苗の植付け、除草、堆肥等の管理作業まで、地区内の公園・運動場の草刈作業、落葉の清掃など年間を通して実施しています。また、伝統行事であります年頭の鬼火炊き・八十八夜の茶摘み製茶等も年間行事として継承し行っております。長与町役場所管の方々の協力を得て、経費面での援助も受け活動の幅も広がり充実した公民館活動が出来ていると考えています。

今後、炭窯の完成、そして炭焼の実現、またお茶園の整備等にも挑戦し、更なる活動につなげるよう協力してやっていきたいと考えています。

ちなみに、この地区でも高齢化で先の活動への不安もありますが、今後も皆で協力して頑張っていきたいと思います。